

Q 市民 65歳以上の高齢者インフルエンザ予防接種と、

A 市長 今年度の新型コロナウイルスとインフルエンザの同時感染に備えて、予防接種を増やすことについて伺う。

Q 櫻井 肇 議員

A 市長 市税の徴収猶予の特例制度により、市県民税法人税等は最大1年間の猶予を受けることができ。これにより市税の減収額は1億1039万円、また温泉関係の固定資産税も5億6千万円の減収と見込んでいます。

Q 藤井幸介 議員

A 市長 新型コロナウイルス感染症による地方財政の急激な悪化は、市の財政にどのような影響をもたらすか伺う。

Q 藤井幸介 議員

A 市長 生後6カ月から小学6年生までの接種希望者に接種費用の一部を助成している。



65歳以上の方へは3170円を公費で助成しており、現時点で接種費用助成額の引き上げは考えていない。

Q 藤井幸介 議員

A 市長 市民の健康維持のための新しい生活様式の周知について伺う。

Q 本館憲一 議員

A 市長 園芸作物の生産振興について伺う。

Q 久保田彰孝 議員

A 市長 持続化給付金は個人事業主が100万円、法人が200万円を上限に、令和2年5月1日から令和3年1月15日までの申請期間となっている。申請対象となるものの、支給対象となるかどうかは経済産業省の判断となる。新型コロナウイルス感染症拡大により、売り上げが前年同月比で50%以上減少した場合などについてを目安としている。

Q 久保田彰孝 議員

A 市長 持続化給付金は個人事業主が100万円、法人が200万円を上限に、令和2年5月1日から令和3年1月15日までの申請期間となっている。申請対象となるものの、支給対象となるかどうかは経済産業省の判断となる。新型コロナウイルス感染症拡大により、売り上げが前年同月比で50%以上減少した場合などについてを目安としている。

Q 久保田彰孝 議員

A 市長 持続化給付金は個人事業主が100万円、法人が200万円を上限に、令和2年5月1日から令和3年1月15日までの申請期間となっている。申請対象となるものの、支給対象となるかどうかは経済産業省の判断となる。新型コロナウイルス感染症拡大により、売り上げが前年同月比で50%以上減少した場合などについてを目安としている。

Q 本館憲一 議員

A 市長 園芸作物の生産振興について伺う。

Q 久保田彰孝 議員

A 市長 持続化給付金は個人事業主が100万円、法人が200万円を上限に、令和2年5月1日から令和3年1月15日までの申請期間となっている。申請対象となるものの、支給対象となるかどうかは経済産業省の判断となる。新型コロナウイルス感染症拡大により、売り上げが前年同月比で50%以上減少した場合などについてを目安としている。

Q 久保田彰孝 議員

A 市長 持続化給付金は個人事業主が100万円、法人が200万円を上限に、令和2年5月1日から令和3年1月15日までの申請期間となっている。申請対象となるものの、支給対象となるかどうかは経済産業省の判断となる。新型コロナウイルス感染症拡大により、売り上げが前年同月比で50%以上減少した場合などについてを目安としている。

Q 久保田彰孝 議員

A 市長 持続化給付金は個人事業主が100万円、法人が200万円を上限に、令和2年5月1日から令和3年1月15日までの申請期間となっている。申請対象となるものの、支給対象となるかどうかは経済産業省の判断となる。新型コロナウイルス感染症拡大により、売り上げが前年同月比で50%以上減少した場合などについてを目安としている。

Q 近村晴男 議員

A 市長 古い街並みを生かすまちづくりを目指している大迫中心商店街に、市内の古い貴重な建物などを、保存や活用も兼ねて移転や改築をしていく考えはないか伺う。

Q 近村晴男 議員

A 市長 市内には産地直売所が14カ所あり、市単独での支援は困難。国や県の補助事業等を広く農業者に周知し、必要な施設の整備を進め、野菜等が安定生産されるよう農業関係者と連携しながら、意欲ある農業者の支援を行っていく。

Q 大原 健 議員

A 市長 この構想は、専門家に市場調査を依頼することが前提となっていたが、予算化をしなければならず、現時点ではニーズ調査を含めた複合化についての調査はしていない。今後、賃貸住宅もしくはテナント床を併設した複合施設の検討をする場合は、専門家を起用して調査が必要になると考えている。

Q 大原 健 議員

A 市長 この構想は、専門家に市場調査を依頼することが前提となっていたが、予算化をしなければならず、現時点ではニーズ調査を含めた複合化についての調査はしていない。今後、賃貸住宅もしくはテナント床を併設した複合施設の検討をする場合は、専門家を起用して調査が必要になると考えている。

9月定例会 一般質問

9月定例会では、13人の議員が登壇し、下記の内容について一般質問を行いました。

令和2年第3回花巻市議会定例会 一般質問一覧 (登壇順)	
若柳 良明 議員 (平和環境社民クラブ)	①新型コロナウイルス感染症対策について ②沿岸被災地への職員派遣について ③防災会議について ④避難所について
久保田彰孝 議員 (日本共産党花巻市議会議員団)	①住宅リフォームの支援について ②農業者の持続化給付金について ③文化財保護について
伊藤 盛幸 議員 (市民クラブ)	①新市建設計画について ②花巻市まちづくり総合計画第3期中期プラン(素案)について ③花巻駅自由通路(橋上化)整備について
藤原 伸 議員 (明和会)	①公共施設マネジメント計画【実施計画編】(素案)について ②新型コロナウイルス感染症対策について
近村 晴男 議員 (花巻クラブ)	①大迫地域の小学校統合について ②ダム管理者に対する流量調整の要請について ③中心商店街の活性化対策について
照井 省三 議員 (平和環境社民クラブ)	①花巻駅自由通路(橋上化)整備について ②悪臭対策について
照井 明子 議員 (日本共産党花巻市議会議員団)	①安心・安全な教育環境と学びを保障する教育行政について ②防災と河川管理について
瀬川 義光 議員 (市民クラブ)	①観光振興について ②教育課題について
本館 憲一 議員 (花巻クラブ)	①花巻市学校施設長寿命化計画(案)について ②園芸作物の生産振興について ③農地転用許可について
櫻井 肇 議員 (日本共産党花巻市議会議員団)	①新型コロナウイルス感染症対策について ②公共施設マネジメント計画【実施計画編】(素案)について
菅原ゆかり 議員 (会派に所属しない)	①投票率の向上について ②ウッズスタートについて
藤井 幸介 議員 (会派に所属しない)	①新型コロナウイルス感染症対策について
大原 健 議員 (会派に所属しない)	①新花巻図書館建設について ②中小企業持続支援事業について ③マイナンバーカードについて ④組織間の連携について ⑤中学校の部活動について ⑥マンホールカードについて



温泉で心と体を休めませんか？

Q 瀬川義光 議員
新型コロナウイルス感染症の影響が続く中で、当面の観光戦略について伺う。

A 市長 今後の影響はいまだ見通せない状況にあり、できるだけ地元の方々の宿泊施設利用が大事であると思われるが、適切な施策を施設関係者とも話し合いながら臨機応変に展開していく。

※10月15日の臨時会で、1月末まで温泉宿泊施設等利用促進事業が延長となりました。

観光振興